

大船渡市内及び釜石市内における 死亡野鳥に係る高病原性鳥インフルエンザウイルスの検出について

【要旨】

令和7年3月21日から23日にかけて大船渡市内で回収した死亡野鳥3羽、3月25日に釜石市内で回収した死亡野鳥1羽の計4羽について、国が遺伝子検査を実施したところ、高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出された旨連絡がありましたのでお知らせします。

なお、県内における野鳥の高病原性鳥インフルエンザ事例としては、今シーズン8例目から11例目となります。

1 主な経緯等

(1) 野鳥の回収地点

①大船渡市大船渡町 ②釜石市嬉石町

(2) 経緯

- 3月21日（金）から23日（日）にかけて、大船渡保健福祉環境センター職員が巡回中に計23羽の死亡野鳥（ハシブトガラス）を回収し、3月24日（月）、回収日ごとに任意に抽出した1羽（計3羽）について簡易検査を実施したところ、3羽で陽性を確認したことから、検体を国立環境研究所に送付するとともに環境省に報告。環境省では、同日付けで回収地点の半径10km圏内を野鳥監視重点区域に指定。
- 令和7年3月25日（火）、沿岸広域振興局保健福祉環境部職員が巡回中に死亡野鳥（ハシブトガラス）1羽を回収し、簡易検査を実施したところ陽性を確認したことから、検体を国立環境研究所に送付するとともに環境省に報告。環境省では、同日付けで回収地点の半径10km圏内を野鳥監視重点区域に指定。

2 国からの検査結果

令和7年3月27日及び28日、遺伝子検査の結果、4羽（①大船渡市3羽、②釜石市1羽）から高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）が検出されたとの連絡あり。

3 対応

- 県（県北広域振興局保健福祉環境部及び沿岸広域振興局保健福祉環境部）では、引き続き、環境省のマニュアルに基づき、野鳥監視重点区域内の野鳥の主要飛来地を巡回し、死亡個体や衰弱個体の早期発見・回収に努める。
- 本日、「食の安全安心危機管理対応指針」に基づき「食の安全安心危機管理連絡会議」を開催（書面開催）し、庁内で情報共有を図る。
- 農林水産部畜産課において、家きん飼養者に対し、本事例の情報提供を行い、飼養衛生管理の徹底と異常時の早期通報について周知を行う。

4 その他

令和6（2024）年シーズンについては、野鳥における高病原性鳥インフルエンザが1道17県で145件発生（3/27時点）しています。

※ 現在までの検査結果確認状況は、裏面一覧表のとおり

○現在までの確認状況

(3/28 現在)

No.	収容日	発見場所	鳥の種類	簡易検査	遺伝子検査
1	11/3	盛岡市下厨川	オオハクチョウ	陰性	11/11 H5 亜型 高病原性
2	12/11	盛岡市高松	オオハクチョウ	陽性	12/16 H5 亜型 高病原性
3	12/16	花巻市石鳥谷町	ノスリ	陽性	1/5 H5 亜型 高病原性
4	3/12	釜石市嬉石町	ハシブトガラス	陽性	3/17 H5 亜型 高病原性
5	3/12	釜石市大平町	〃	陽性	3/17 H5 亜型 高病原性
6	3/18	久慈市小久慈町	〃	陽性 (1) 陰性 (1)	3/25 H5 亜型 高病原性
7	3/19	釜石市大平町	〃	陽性	3/25 H5 亜型 高病原性
8	3/21	大船渡市大船渡町	〃	陽性	3/27 H5 亜型 高病原性
9	3/22	〃	〃	陽性	3/27 H5 亜型 高病原性
10	3/23	〃	〃	陽性	3/27 H5 亜型 高病原性
11	3/25	釜石市嬉石町	〃	陽性	3/28 H5 亜型 高病原性
12	3/25	大船渡市大船渡町	〃	陽性	検査中